要旨フォーマット

メインタイトル（14pt.ゴシック）

サブタイトル（あれば。12pt.ゴシック）

〇〇ゼミ・学籍番号・氏名（12pt.ゴシック）

１　目的　（以下、12pt.明朝）

本研究は、□□□□□□□□□□□□□□□□□□を明らかにすることを目的としている。なぜならば、□□□□□□□□□□□□□の理由により、□□□□□□□□□□の必要があるからである。

２　方法

本研究では□□□□□□□□のために、×××に関して、①質問紙調査（〇年〇月、〇年〇月、〇年〇月に３回実施、回答数はそれぞれ〇、〇、〇）、および②半構造化面接（〇年〇月に実施、対象者〇名）を用いてデータを収集し、それらを、①は△△の手法で、②は◎◎の手法で分析をした。

３　考察

上記①のデータから、×××に関しては、□□□□□□□□□□という結果が得られた。また②のデータから、×××に関しては、□□□□□□□□□□□という結果が得られた。

質問紙調査の結果からは、以下のことが指摘できる。すなわち、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。

他方、半構造化面接を用いた調査の結果からは、以下のことが指摘できる。すなわち、□□□□□□□□□□□□□□□□□。

これに関連してキャリアデザイン学者の▽▽は、「□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□」（▽▽, 2015, p. 12）と述べている。さらに、◇◇◇は、▽▽の理論をふまえ、「〇〇〇」説を提唱している。この指摘をふまえると、①の結果と②の結果の矛盾は、次のような理解で解釈可能となる。すなわち、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。

４　結論

以上のことから、□□□といえるだろう。本研究は、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□を明らかにした点で、□□□□□□□□□□□□□□□□□□□。本研究の限界としては、□□□□□□□□□□□□□□□□□が挙げられる。**（※次頁　作成上の注意　も参照のこと）**

◆作成上の注意

・この雛形はあくまで一例です。１～４の内容をおおむねカバーするものを作成してください。必ずＡ４一枚以内に収め、ゼミ教員の指導を十分に受けたうえで提出してください。
・文字数は８００字以上を目安に作成してください。
・１段組で、１行 ４２ 字×３８ 行程度。
・上下左右に余白 20mm。
・ページ番号は入れない。
・題目は 14 ポイント、副題目は 12 ポイントで、中央寄せ。
・所属ゼミ・氏名は １２ ポイント。
・本文は １２ ポイント。
・本文は明朝体、題目・副題目・氏名はゴシック体。

・この雛形は４年生の発表を念頭において作成されています。３年生以下の発表では、データの収集や考察が中途であり、結論がいまだ出ていないことも当然考えられます。したがって、それぞれの研究遂行状況に合わせて、本フォーマットに準じる形で要旨を作成してください。

・「４．結論」の部分では、分析結果のまとめを書くことに加えて、研究のオリジナリティ、実践的含意などがあれば記述して差し支えありません。

・2018 年度から要旨集は Web 上での配付に変更したため、可読性の点から要旨への参考文献の記載は求めないことにしました。成果発表会での発表スライド、配付資料では参考文献を明記してください（記載の方法は基礎ゼミテキストを参考）。